

海外事務所 主な活動報告（令和 7 年 10 月）

《ワシントン州事務所》

カナダのブリティッシュ・コロンビア州（以下 BC 州）において、バンクーバー酒フェス 2025 が開催され、当事務所は兵庫の酒を PR するため初出展した。

業界関係者が参加する同フェスの第 1 部にて、兵庫の酒を提供したところ、いずれの銘柄も大変好評で、レストラン関係者からは BC 州での販売が決まればぜひ連絡してほしい、輸入事業者からは取扱いを検討したい等の意見があった。

また、会場内では厳選された 6 銘柄を取り扱う日本酒セミナーが開催され、兵庫の酒も提供された。参加者からは、米の風味が直接感じられるエレガントな味わいといった高い評価の声が聞かれた。

カナダは 2024 年の日本酒の輸出数量で第 6 位、伸び率が対前年度比約 38% 増を記録する等、有望な市場の一つであることから、県内各蔵元のカナダにおける販路拡大を支援するとともに、関係団体等と連携しながら、引き続き兵庫の酒の PR に注力していきたい。

＜バンクーバー酒フェス2025における兵庫の酒のPR＞

- 日 程 2025（R7）年10月9日（木）
- 場 所 コーストコールハーバー バンクーバーホテル by APA
- 参 加 者 レストラン等日本酒流通関係者 約 140 人



日本酒セミナーの様子

《パリ事務所》

県新産業課による水素海外展開チャレンジ事業における、ドイツ・ハンブルクでの展示会参加及びシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州（以下 SH 州）での交流会開催の支援を行った。

水素分野では欧州最大級であるハンブルク水素展示会に同課及び県内企業が参加・出展し、当事務所では、現地でのネットワーキングや調査の支援をした。また、本県の友好交流先である SH 州内企業のブース視察や同州政府の水素経済調整局担当者との意見交換について、現地での事前調整や当日の交流活動を支援した。

SH 州の州都キールの海洋研究所（通称ゲオマール）を視察するとともに、同州政府や同州内企業との交流会を実施した。交流会では、同州政府や企業等による先進的な水素関連産業の発表や、本県による水素関連施策の発表等のほか、意見交換も行われた。当交流会のプログラムは、SH 州国際課職員が今年 2 月に本県に来県し、県新産業課と意見交換をしたことをきっかけに、企画・運営されたものであり、友好交流先との交流が一層深まるものとなった。

＜ドイツでの水素展示会出展及び企業交流会開催への支援＞

- 日 程 2025（R7）年 10 月 21 日（火）～24 日（金）
- 場 所 ハンブルク市内展示会場、
キール海洋研究所（SH 州キール）
- 参 加 者 展示会出展者：36 か国から 1,000 社以上
（うちドイツ企業約 400 社）
来場者：約 2 万人
交流会参加者：県内企業、本県関係者、SH 州企業、
SH 州政府等 31 人



県新産業課とSH州の協議の様子

《香港経済交流事務所》

10月24日から27日にかけて、台湾中部の台中市で開催された ATTA 台中国際旅游博において、ひょうご観光本部、阪神電気鉄道株式会社と共同でブースを出展した。

会場ではパンフレットを配布しながら来場者への PR を行うとともに、ひょうご観光本部のインスタグラムのフォロワー数増加に努めた。また、イベントステージにおいて兵庫県の紹介も行った。

さらに、会場ではアンケートを行い446人から回答を得た。性別は男性42%、女性58%で、年齢は20歳代が14%、30歳代が32%、40歳代が27%、50歳代が17%であった。日本に行ったことがある人が86%で、兵庫を訪問したことがある人は32%であった。旅行情報をどこから収集するかとの質問には、旅行関連のウェブサイト、フェイスブック、家族や友人からの評判という答えが多かった。また、日本の温泉に関心があるとの回答は94%と非常に高く、実際に温泉に関する質問も多く寄せられた。その他日本で体験したいこととしては、スキー、祭り、マラソン、サイクリング、野球観戦、着物、グルメなどの回答が多かった。

今後とも兵庫の観光 PR に努めていきたい。

<ATTA 台中国際旅游博への出展>

- 日 程 2025 (R7) 年 10 月 24 日 (金) ～27 日 (月)
- 場 所 台中国際展覽館 (台中市内)
- 出 展 数 97 国・地域
- 参 加 者 約 31 万 5 千人
(うち、兵庫県ブース来場者 約 3,100 人)



兵庫県ブースの様子